

(公財)後藤・安田記念東京都市研究所

(旧・東京市政調査会)

第34回『都市問題』公開講座

## 老朽化する社会資本—再生の基本戦略

2013年2月16日(土)13:30~16:30

日本プレスセンター 10階ホール

(〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1)

### 基調講演

中村 英夫 氏 (東京都市大学学長)

### パネルディスカッション

竹村 公太郎 氏 (公益財団法人リバーフロント研究所代表理事)

手塚 文雄 氏 (横浜市技監)

保母 武彦 氏 (島根大学名誉教授)

室崎 千重 氏 (奈良女子大学生生活環境学部講師)

新藤 宗幸 (後藤・安田記念東京都市研究所研究担当常務理事) <司会>

参加費：無料

参加申込み：後藤・安田記念東京都市研究所ホームページ(<http://www.timr.or.jp>)からお申込みください。

申込み期限：2013年2月12日(火)

※満席となりしだい受付を終了しますので、お早めにお申込みください。

問合せ先：後藤・安田記念東京都市研究所 研究室 TEL：03-3591-1261

『都市問題』公開講座は、公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所(旧・財団法人東京市政調査会)の発行する月刊誌『都市問題』の特集などから時宜に適ったテーマを選び開催しています。

第34回は次のような趣旨により、「老朽化する社会資本—再生の基本戦略」をテーマとして開催いたします。多数の方々のご参加をお待ちしております。

### 【開催趣旨】

高度経済成長期に急速に整備された道路、上下水道、各種の公共施設などの社会資本は、都市部を中心として老朽化の時期を迎えており、どのように維持・管理、補修するか、国のみならず自治体は頭を悩ませている。しかし、これら社会資本が構築された時代と21世紀も10年代となった今日では、人口・経済社会条件の違いは著しく、技術面でもそれを支える思想や工法などに大きな変化がみられる。

時代状況に適合する社会資本の再生はいかにあるべきか。主として自治体を対象として、多角的に考えることにする。